

# 聖学院大学大学院・総合研究所 教員活動報告書（ 2007年度）

著者	聖学院大学 総合研究所
雑誌名	聖学院大学総合研究所Newsletter
巻	Vol.18
号	No.2
ページ	24-26
発行年	2008-09
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1477/00002451/">http://id.nii.ac.jp/1477/00002451/</a>

<b>Title</b>	聖学院大学大学院・総合研究所 教員活動報告書（2007 年度）
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.18-No.2, 2008.9 : 24-26
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4766">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=4766</a>
<b>Rights</b>	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

# 聖学院大学大学院・総合研究所 教員活動報告書（2007 年度）

ふか い とも あき  
深 井 智 朗

現職位：教授

本学への就任：1997 年 4 月

最終学歴：1996 年 6 月 アウクスブルク大学哲  
学・社会学部

取得学位：

1996 年 6 月 Dr. Phil. (アウクスブルク大学)

2006 年 11 月 博士 (文学) (京都大学)

所属学会：日本哲学会 (1996 年～)、日本宗教学  
会 (1997 年～)、日本基督教学会 (1998 年  
～)

担当科目：(大学院) キリスト教文化学 D 現代神

学史研究、原書講読 (ドイツ語)、海外研究  
者講義 F・W・グラーフ教授との演習

専門分野：ドイツ近代思想史、ドイツ近・現代神  
学史

研究テーマ：ヴィルヘルム帝政期からワイマール  
共和国期の社会と神学

研究内容：1) ヴィルヘルム帝政期のルター派リ  
ベラル・ナショナリズムの研究、2) ヴァイ  
マール期における神学的アヴァンギャルドの  
研究

研究業績 (2007 年度 (2007/4 ~ 2008/3))

下表参照

区分	題 名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概 要	刊行・発表年月
論文	Теология Японии как национальная теология.	Сайт Надежды Николаевны Трубниковой・ モスクワ	「公共神学としての日本の 神学」という主張を取り扱 った講演のロシア語訳。	2007.10
論文	「見えないものを見る ——表現主義的神学と表 現主義的芸術」	『福音と世界』・東 京・新教出版社 2008 年 1 月号	株式会社宣伝会議主催の講 演会での講演をまとめたも の。ヴァイマール期の表現 主義的な思想の現代的の意 義について論じた。	2008.1
論文	「孤独という名の宗教 ——近代の宗教としての 神秘主義」	『福音と世界』・東 京・新教出版社 2007 年 12 月号	ヴィルヘルム帝政期以後の ドイツ社会における教養宗 教としての神秘主義につい て論じた。	2007.12
論文	「教会外のキリスト教と 聖書学」	『日本の神学』・東 京・教文館 46 号 (2007 年)	2006 年に行われた日本基 督教会学術大会でのシン ポジウムでの発題。近代の 聖書学の教会からの自立と その後の協力関係について 二つの相対化モデルを用い て論じた。	2007.10
翻訳	F・W・グラーフ『ハル ナックとトレルチ』(翻 訳・近藤正臣氏との共 訳)	聖学院大学出版会	2004 年に F・W・グラーフ 教授が聖学院大学大学院で 行った講義の翻訳。	2007.4

区分	題 名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概 要	刊行・発表年月
論文	Otto Dix: A Theological Life 1891-1969, in: M. Schwarz (ed.), Art and Religion, New York 2006, 77-84	M. Schwarz (ed.), Art and Religion, New York 2007, 77-84	2001年8月11日に多摩美術大学を会場に行われた第26回近代美術史研究会で行った講演。『聖学院大学総合研究所ニュースレター』(2001年 Vol.7 No.3)に掲載されたが、それを改定し、英訳された。	2007.5

こう まん せん  
高 萬 松

(聖学院大学)

現職位：特任研究員

所属学会：日本基督教学会（2001年～）、日本ピューリタニズム学会（2005年～）、学校伝道研究会（2005年～）

本学への就任：2005年4月1日

最終学歴：

1981年2月 韓国、慶北大学校工科大学卒業

1999年2月 東京神学大学大学院修士課程修了

2005年3月 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了

担当科目：キリスト教概論A、キリスト教概論B

専門分野：組織神学

研究テーマ：歴史の神学

研究内容：フォーサイス神学におけるピューリタニズムやトマス・グッドウィンの神学

取得学位：

1999年2月 神学修士（東京神学大学）

2005年3月 アメリカ・ヨーロッパ文化学博士

研究業績（2007年度〈2007/4～2008/3〉）

下表参照

区分	題 名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概 要	刊行・発表年月
講演	P.T. フォーサイスにおける神義論	2007年度組織神学研究センター連続講座	フォーサイスの言う「神義論」が十字架の神学の上に立っているということについて。	2007.5
学会発表	P.T. フォーサイスとピューリタニズム	日本ピューリタニズム学会	1662年の非国教徒たちの大追放を記念したフォーサイスの1912年の著作から、ピューリタニズムとの親近性について。	2007.6
学術論文	P.T. フォーサイスとピューリタニズム：「自由」の問題を中心にして	『ピューリタニズム研究』No.2	フォーサイスの言う「自由」はピューリタン・独立派の思想に基づいた「福音的」土台を持っている。	2008.1

区分	題 名	掲載誌・発行所・ 学会名等	概 要	刊行・発表年月
学術 論文	トマス・グッドウィン における義認論：Christ Set Forth を中心にして	『聖学院大学総 合研究所紀要』 No.41	義認の根拠はキリストの 死、義認の宣告はキリス トの復活、義認の完成はキ リストのとりなしにあるとい うことについて。	2008.3
学会 発表	フォーサイスにおける 「エヴァンジェリカリズ ム」	日本基督教学会関 東支部会	フォーサイスはピューリタ ン・独立派の上で「エヴァ ンジェリカリズム」を確立 し、「偉大なる教会」を目 指して教会のカトリシズム を実現しようとした。	2008.3